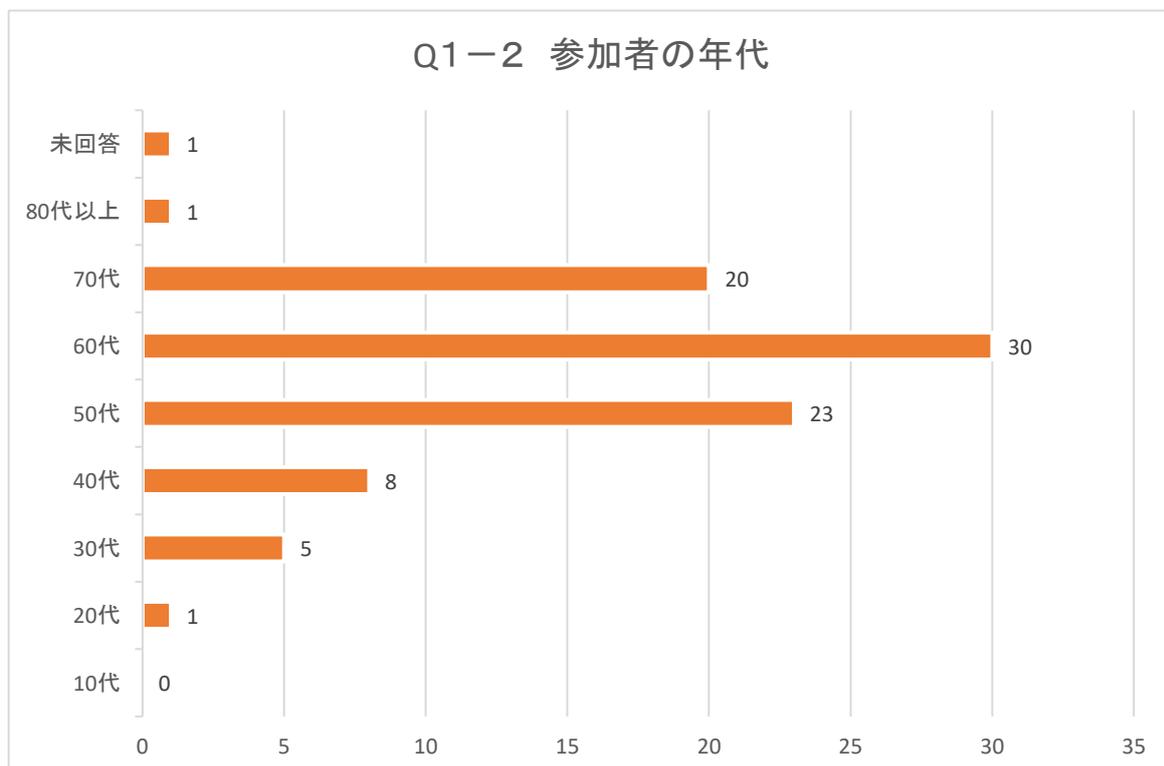
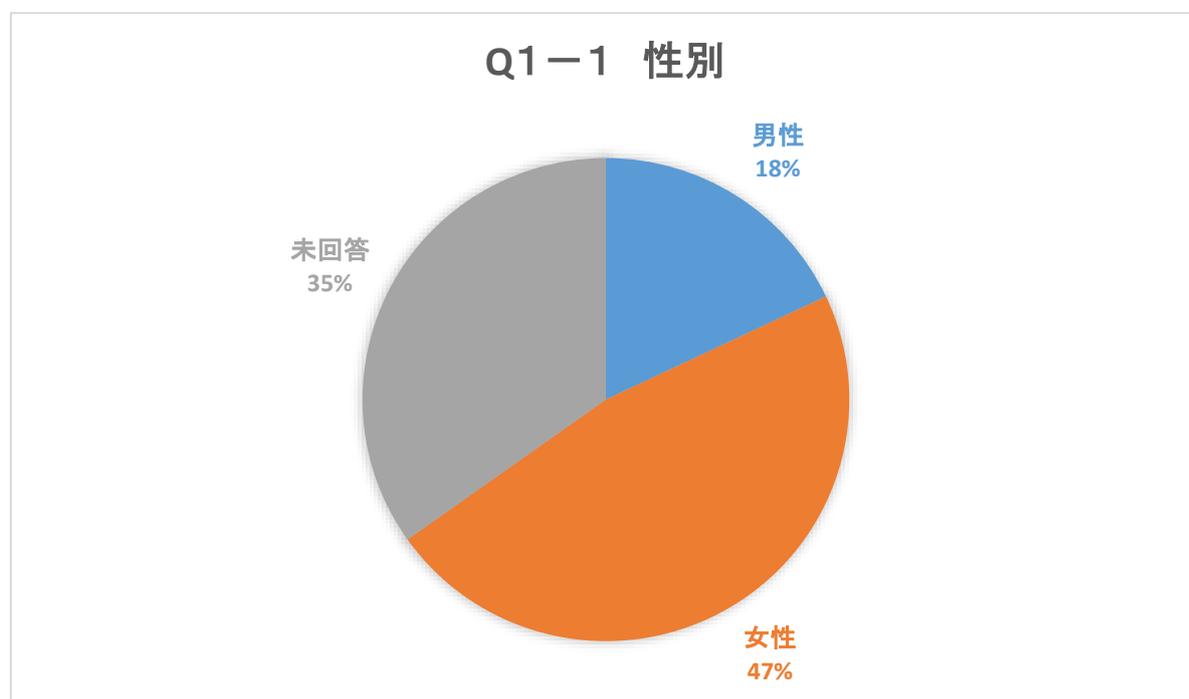


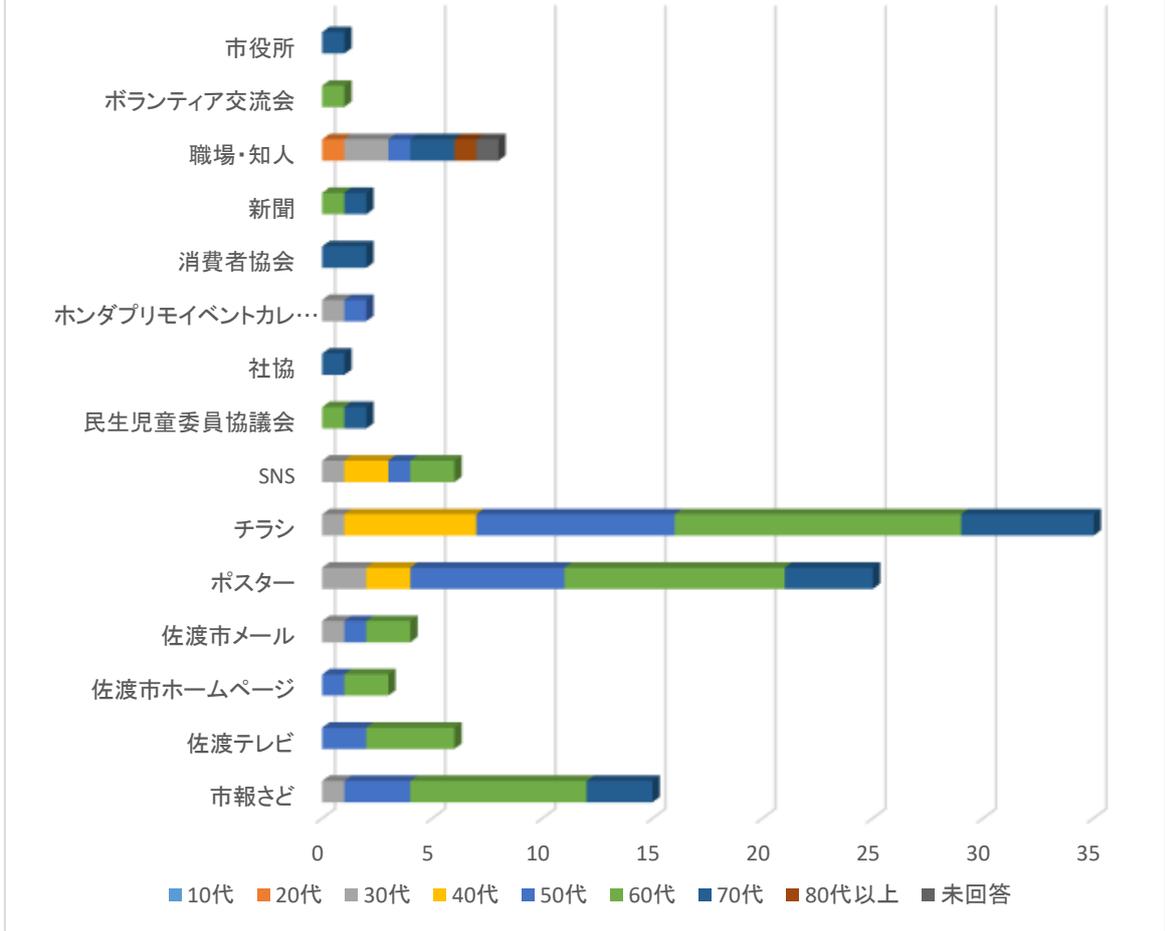
令和元年度 虐待予防講演会アンケート集計結果

回答者数 89名(参加者107名)

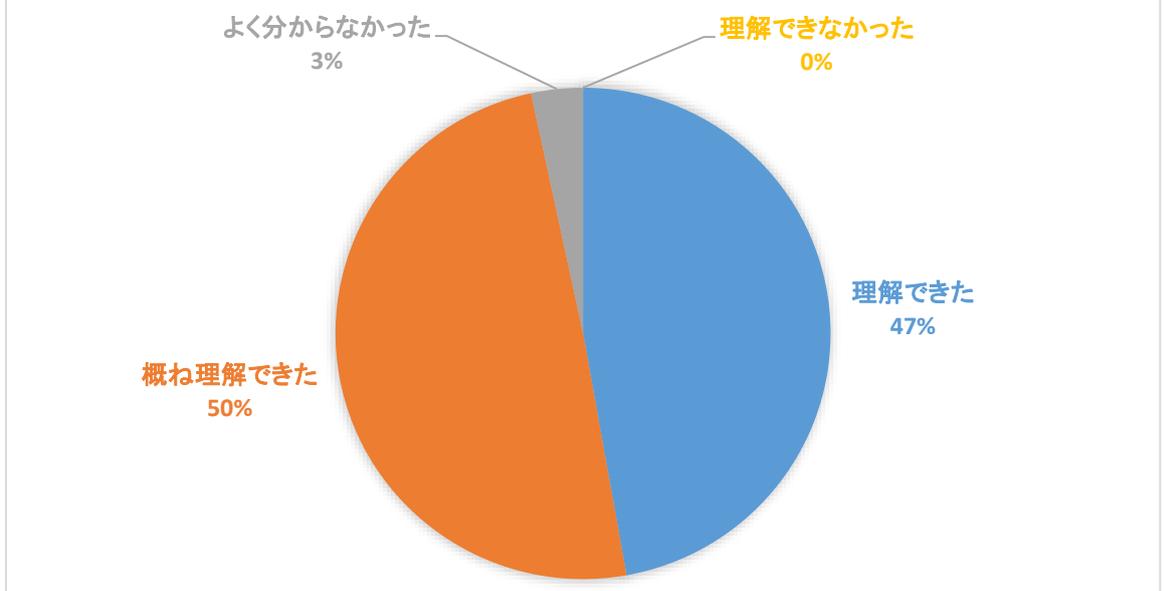
回答率 83.1%



Q2 講演会を何で知りましたか？



Q3 内容は理解できましたか？



Q4 理解できた点や理解できなかった点について

ワークで何を書けばよいか分からなかった

被虐待者は息子が多いと聞いてなるほどと思った

思考のコントロールと行動のコントロールをもう少し勉強したい

アンガーマネジメント診断を子どもたちにもやってみたいと思った

アンガーマネジメントのポイントがよく理解できた

3つの暗号が実行できないと悪い怒りになることが分かった

図表が多くて内容が分かりやすかった

自分のタイプが分かってよかった。

3つの暗号は実際に思い出して実行できるかは分からない

理解しやすかった

言葉がよくわからなかった

アンガーマネジメントの具体的なメリットが分かった

怒りに対して文字にしたり人に話すことも大切だと思った

思考のコントロールを実践していきたいと思った

アンガーマネジメントは怒らないことではなく、怒りを後悔しないことである

ことが分かった

怒り・感情をコントロールすることが必要であることがわかった

丹田呼吸法がしっかり理解できた

上手な怒り方についてももう少し説明がほしかった

6秒待って衝動をコントロールしていきたいと思った

時間が経つのが早く感じた

アンガーマネジメントは怒らないことではなく、怒る必要があるときは

上手に怒ることであると分かった

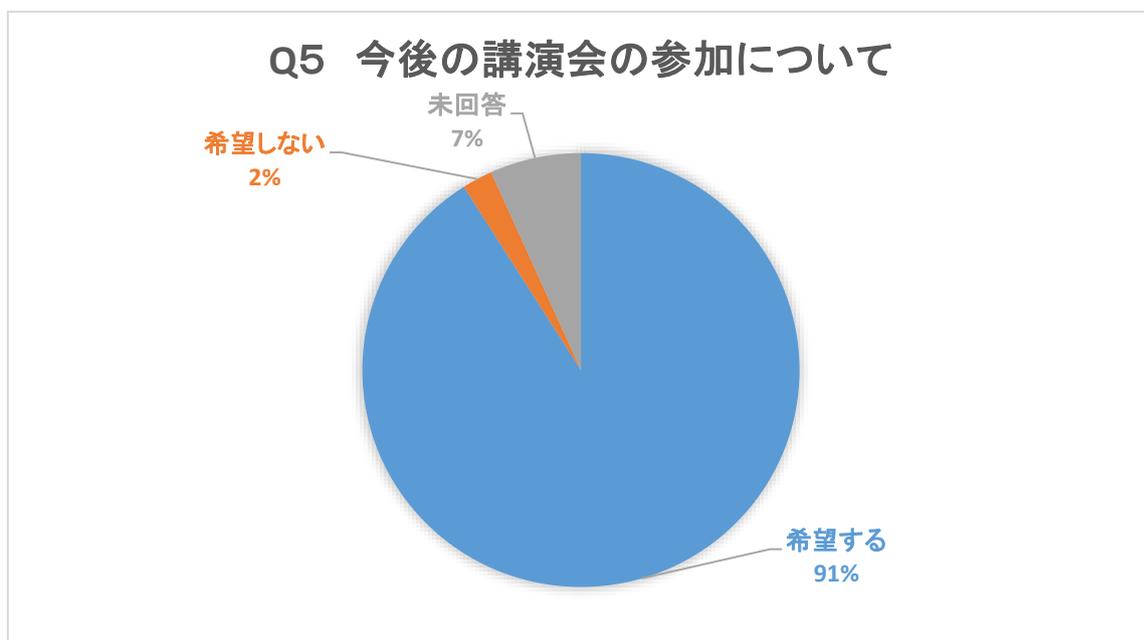
怒りのコントロール方法の理解ができた

身近な事例を使って説明していただけて分かりやすかった

資料を振り返ったときに意味が分かりづらいのが残念だと思った

3つの暗号が分かりづらいと思った

感情や怒りの発生メカニズムが理解できた
怒りの感情をしっかり認識・コントロールして上手に怒っていきます
社会の流れが複雑で曖昧なので感情のコントロールが理解できなくなっているのだと思った
思考のコントロールの理解が難しかった
アンガーマネジメント診断の後、どう活かせば良いのか知りたかった
皆が感情のコントロールができれば戦争もなくなると思った
相手のタイプが分かると対応できることが増えると思った
怒ることは大事だが必要でないことは怒らないことが大事だと思った
人格や性格・能力を否定しないことが大事だと思った
障がいのある子を育てているのですぐに実践していきたい



Q6 その他(自由記載)

連鎖について興味がある

自分のことを言うよりも人の話を聞くほうが自分にあっていることが分かった
時間が足りなかった

怒る人と常に付き合わなければならない人へのアドバイスを聞いたかった
とてもよい内容だった

ワークとレクチャーがあり飽きない構成でよかった

ワークがよかった

自分のことが分かってよかった

虐待の裏側には愛情の心があることが分かった

もう少しゆっくり聞いてみたい内容だった

資料の文字が大きくてよかった

講演会の時間内でのアンケートでは回答しきれないので家でも回答
できるような配慮がほしい

紙ベースの資料やアンケートだけでなくデータで見れて回答できるような
選択肢がほしかった

思っていた内容と違った

一人ひとりが怒りをコントロールできるようになれば事件も減ると思った
今回の講演会は若い人向けだと思った

介護など人と接するとき怒りをコントロールする技術や知識が有ると
ないでは大きく違うと思う

コーチングの研修会を希望する

頭では理解できたが実践するには練習が必要だと思った

毎年虐待予防講演会はゲストを招いて開催したほうが参加者も増えて
よいと思った

会場内が寒かった

内容が期待外れの部分もあった

キッズのアンガーマネジメントにも興味があります

障がい年金・成年後見制度・発達障がいの研修会を希望します